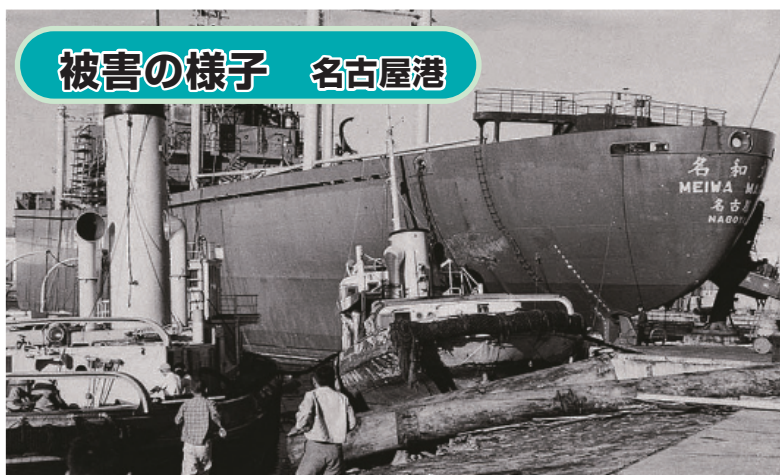


# くらしを守る名古屋港

## 港をおそう災害

### 伊勢湾台風

昭和34年（1959年）9月26日に上陸した伊勢湾台風によって、名古屋港では最高5.31mという高潮が発生しました。そのため、名古屋市港区や南区、海部郡蟹江町などで、堤防が切れ、海や川の水とともに木材などが町に流れこみました。愛知県では死者・行方不明者3,260名（全国5,098名）の大きな被害を受けました。



被害の様子 名古屋港

船が乗り上げてしまったんだね。どうやって被害を防げばいいのかな。



### 東北地方太平洋沖地しん（東日本大しん災）

平成23年（2011年）3月11日に三陸沖で起きた地しんにより、大変大きな津波が発生し、三陸えん岸はまたたく間に津波に飲みこまれました。その被害は東北地方全体で死者約15,900名、行方不明者約2,500名にも及びました。



被害の様子 仙台塩釜港

海で大きな地しんが起きて津波が港をおそったんだね。

建物や設備が地しんでくずれたり、自動車も津波で流されたりしているね。

被害を少なくするための準備が必要だね。



問6

1959年に名古屋港をおそった台風をなんと言うでしょう。

ア

むろと 室戸台風

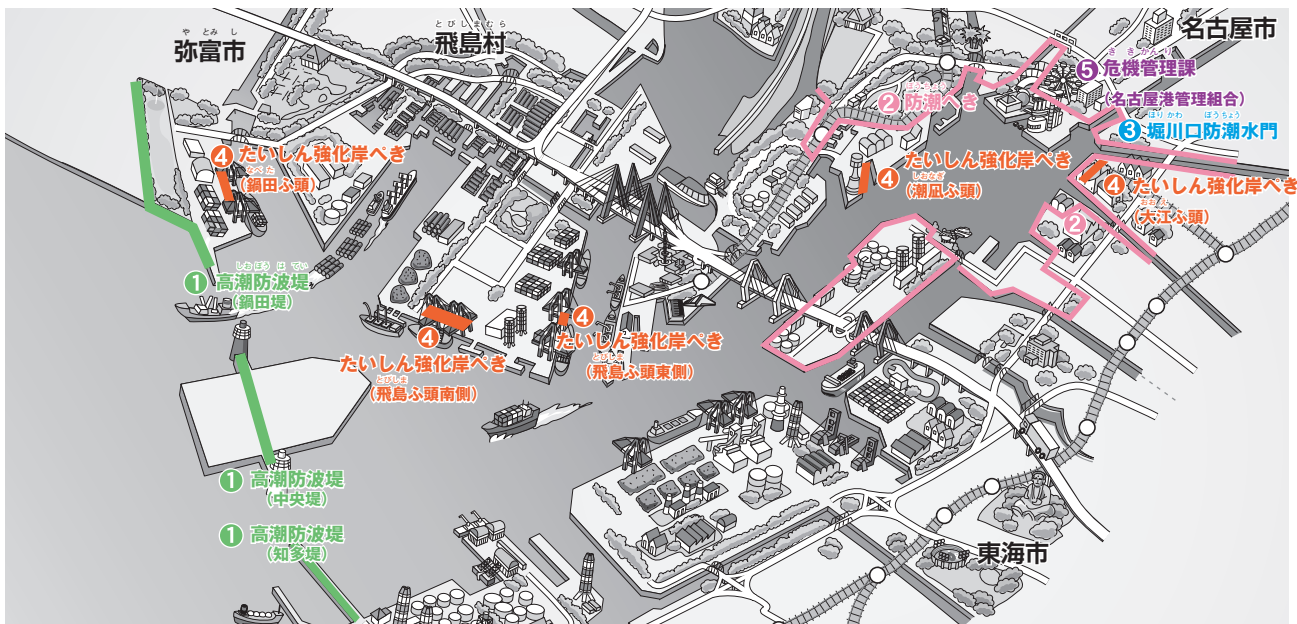
イ

まくらざき 枕崎台風

ウ

伊勢湾台風

# 名古屋港の防災施設



**① 高潮防波堤**  
しお ぼう ば てい

沖で、高潮と波ろうの勢いを弱めます。

**② 防潮へき・防潮とびら**

高潮や津波が町に流れこむことを防ぎます。

**③ 堀川口防潮水門**

高潮のときに水門を閉じて、海から堀川への流れをせき止めます。

**④ たいしん強化岸ぺき**

必要な人や物を運ぶために、大きな地しんでもくずれないじょうぶな岸ぺきです。

**⑤ 危機管理課**

24時間体制で、すばやく災害に対応できるようにしています。

高潮や津波が発生したときは、「高潮防波堤」「防潮へき・防潮とびら」「防潮水門」などの施設が、みんなの生活を守ってくれるのだよ。  
日ごろからの訓練も大切なんだね。

**防災訓練**

地しんや台風などの災害に備えて、日ごろから訓練しています。



**問7**

災害を防ぐために、名古屋港にあるものは何でしょう。

- ア** 高潮防波堤
- イ** 名古屋港水族館
- ウ** 名古屋港ポートビル